

国労で合格しよう

昇進差別二〇事件が一括和解 〓 十三年余の闘い “結実” 〓

一九八七年にJRが発足し翌八八年から始められた昇進試験は、国労敵視の歪んだ労務政策のもと、「昇進制度」を利用し徹底した国労組合員に対する昇進・賃金差別の道具として、その運用が行われてきた。

「国労に所属している限り昇進試験には合格しない」などの差別攻撃が職場に吹き荒れる中、私たち国労は九一年以降、職場を基礎に各地の労働委員会に不当労働行為の救済申し立てを行い、また、受験の取り組みを通じた不当差別の立証と是正を取り組み、この闘



この和解を組織強化・拡大へ

和解調印後の弁護団・機関代表者



組合員の購読料は
組合費に含まれます

荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 阿部 力
編集責任者 宮崎浩則

No. 1669 定価
15円

2005年

12月5日

国労加入を 大胆に訴えよう

我が支部自慢

(第一四回・横浜支部)

六線区四五分会九七〇名程で組織する横浜支部は、地本内最大約一六〇名の貨物組合員、全系統に亘る組合員を擁するバランスの取れた組織。

年間活動のポイントは、毎月定例の執行委員会、四半期に一度の分会長会議、毎月定例

の成果が中労委における和解という形で結実した。

今回中央労働委員会において一括和解した昇進差別事件は、中労委六件、東京都労委一四件の合計二〇件。

この意義は大変大きく、何よりもこれまで、「国労では昇進試験に合格しない」「何とかしてあげたいけど、今のままでは...」と、制度を理由に露骨な組織攻撃がかけられ続けてきたこと、このことが職場における国労の地位を年を追うごとに拡大・

定着し、仕事における技術力と職制の関係不均衡を確実に作り出してきたこと、賃金格差からの脱却のみならず、新規採用者の国労加入の最大の妨げとなってきたこと等々であり、今年度六〇〇名を超える組合員が昇進試

和解対象事件

- 中労委(郡山工場・神奈川・岩手・土崎工場・新橋駅・宮城)
- 都労委(王子駅・八王子保線区・大井工場・新宿駅・下十条運転区・上野新幹線第二運転所・武蔵小金井駅・新宿信号通信区・大森駅・八王子車掌区・立川車掌区・三鷹車掌区・新宿車掌区・大井町駅)

11・13
米軍の基地再編成強化反対
第1軍団は来るな!
キャンプ座間包囲行動



「不当労働行為のない正常かつ健全な労使関係の確立」への展望を大きく切り開くと共に、公共交通機関であるJR東日本に課せられた社会的使命をしっかりと果たす可能性を切り開くものであるからだ。

職場の問題点は、採用手控えの影響による要員不足と技術継承問題(貨物)。現場長・助役の日勤化に伴う土・日休日化問題、要員不足と事故時対応の不備、IT化の進行に伴う教育不足(東・駅)。尼崎事故以来の細かい指摘への緊張(東・運転)。メンテ合理化不備に伴う足口解消のための再配置(東・電気)。作業量増大と現場作業の夜間集中(東・保線)など多岐に亘り、問題解決に向

今回の和解は、昇進差別是正を実現していく新たな闘いの出発点に立った段階であり、引き続き差別是正に向けた闘いを継続強化することが求められている。一三年余の闘いで創り出した情勢に自信を持ち合い、今後の受験に果敢にチャレンジすることから具体的な事実を積み上げ、職場における誰が見ても当たり前の状態を創り出すと共に、「本籍国労」の多くの仲間、国労復帰を呼びかけ、平成採用者に東労組の圧制からの解放と国労加入を呼びかけよう!



堂本コック長の昼食

役員・書記の皆さん

各地区本部大会報告

神奈川地区本部大会

〈10・22 藤沢〉

一〇月二二日、第一〇回国労神奈川地区本部大会が藤沢市労働会館で開催された。

大会は、一〇時に代議員定数五八名中四五名の出席を確認、議長に吉田茂(東神奈川駅)さん、副議長に吉沢信次(国府津運輸所)さんが選出された。

久保沢委員長は、「福知山線脱線転覆事故、採用差別事件、組織強化拡大、平和と民主主義の闘い、地区本部のあり方について」述べ、真摯な議論を要請した。

本大会は、昇進差別事件の和解協議が進められる中で、組織強化・拡大の闘いが急務であること、JR福知山線脱線転覆事故は、

仕事総点検運動を通じて、安心して働ける職場作りが事故防止に重要であること。採用差別事件は、組織内の総団結を確認し、早期解決に向けた意思統一を固めあうこと等が求められた大会。

発言は、職場実態を踏まえた闘いの報告や



要請など、経過で四名方針で一〇名の発言があり、闘いの意思統一を深めた。

難波書記長集約では、「安全問題、合理化対策、採用差別問題、昇進問題、反戦平和について」述べ、最後に、「地区本部のあり方について」は、昨年の大会で総合的な検討を開始

することを確認し、来年七月を視野に各支部と連携を取りつつ、組織整備を図る」ことが意思統一された。

来年六月に規約改正と役員選出を含め、続開大会を開催することを確認し、大会を休会とした。

(神奈川地区本部発)

大宮地区本部大会

〈10・22さいたま〉

国労大宮地区本部第六回定期大会は一〇月二二日、さいたま市で代議員等五〇余名が参加し開会された。

大会議長団には宇都宮支部相楽代議員、大宮支部柴田代議員が選出された。冒頭、寺崎



また、JR西日本の事故に関連して、今後の運動の中でも安全安定輸送を確保する闘いが大切だと発言がされた。

書記長集約では「五年目を迎えた地区本部だが、他に誇れる運動体を目指し、職場討議をしっかりやっていく。合

委員長は「情報化社会と言われている。優秀な組織というのは情報をできるだけ早く集め、できる限り分析してそのことを組合員に返すことのできる組織だ」と述べ、国労組織のあり方に進言しながら、今大会を持って退任することも表明した。

大会討論の中心は「昇進・昇格試験」と「地区本部の運動体化」に集中したが、「昇進試験」問題では、今後期待する意見が多くあり組合員の関心の高さが明らかになった。「地区本部の運動体化」でも期待する意見が多く出され、一方で地区本部費徴収についての意見を踏まえ、来年六月までを職場討議、大会以降六月までを助走期間としながら、来年度の会計年度からスタートすることになった。今後三支部と協力しながら地区本部の実質的な運動体化が進められる。

青年部が平成採用者交流集会開く

一月一三日、品川区民公園において、青年部主催の「パーベキューと芋煮を囲んで交流会」を開催した。

本部青年部より因泥青年部長も参加し挨拶。当日は穏やかな絶好の青空の下、参加者は青年部・青対・家族・友人など三〇名余の仲間が集まり、炭の火入れから料理の準備と分担して童心に帰ったように楽しみながらの作業。中には待ちきれずに摘み食いも発生し、パーベキューならではの楽しみも味わった交流会。芋煮が出来上がる頃には、お肉は

完売。しかし若い胃袋はまだまだ序の口。今度は鍋に舌包みを打ちながら、日頃関わる仕事の悩みなどを先輩方に打ち明けアドバイスをしてもらおうなど、職場で経験豊富な組合員が多い国労だからこそ出来る事で、人それぞれ個性的で考え方の違いもある中での確に自信を持って話す姿に改めて感銘。

この紙面をお借りし、大井町駅分会松浦分会長のご協力で品川区民公園でパーベキュー交流会を盛大に開催できた事にお礼を申し上げます。(地本青年部発)

第12回へら鮎釣り大会



一月一六日、晩秋とは思えないボカボカ陽気の中、羽生市・椎の木湖で第一二回へら鮎釣り大会が開催された。

水面近くにへら鮎が見えながらも針にかからないとばかり参加者がいる中、「黄色いうどん」の餌で、四六キロ以上を釣り上げた、八王子支部・三鷹車掌区分会の大川亨さんが通算三度目の優勝を果たした。

【結果】

優勝 大川 亨(八王子・三鷹車掌区) 四六・七キロ

準優勝 坂井正雄(大井工場) 四〇・六キロ

第三位 萩原雅明(新橋・田町電車区) 三二・九キロ

理化学問題では国労の政策要求に基づいて会社と向き合っていきたい。安全・安定輸送問題は、仕事総点検運動を通じてしっかりと取り組んでいく」とまとめた。

大会は全ての議案を満場一致採択し、蕪澤慶治委員長(宇都宮支部)、花田隆副委員長(大宮支部)、松井正義書記長(大宮支部)と増強した執行委員会を含め一〇名体制での新執行部を選出した。(大宮地区本部発)

八王子地区本部大会

〈10・29 八王子〉

国労八王子地区本部第九回定期大会は、一〇月二九日八王子労働会館で開催された。

代議員四九名中四一名が参加し、中山代議員(八王子支部)、深沢代議員(甲府支部)の議長団によって以降進行した。

茂木啓二委員長から「四月に発生したJR福知山線脱線事故は、会社の効率化がもたらしたと言っても過言ではなく、労働条件改善と表裏一体の運動として安全・安定輸送の確立を目指す。JR不採用問題は、改めて団結回復をし、解決の主体は我々国労であること

を再認識し、一枚岩の団結を。正常な労使関係を求める闘いについては、昇進試験問題など事実をもって会社に訴えていく。最後にあらゆる職場からの運動を組織拡大につなげ、地区本部に総団結してがんばろう」と挨拶



第9回八王子地区本部大会

大会議案は、すべて満場一致で採択され、地区本部への運動体移行という組織検討委員会答申をうけ、国労八王子地区本部でも小山富夫新委員長を筆頭に二三名の新執行部体制を確立し、新執行委員長の団結カンパニーで大会は閉会・終了した。(八王子地区本部発)